

中国語教材における出会いと別れのあいさつ表現

西 香 織
(外国語学部 中国学科)

キーワード

中国語、あいさつ、教材、定型表現、呼称語

要旨

日本語のあいさつには「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「すみません」などの定型表現が実に多い。あいさつはどの言語文化にも必ず存在するが、定型表現の使用を好まない言語文化、近しい人にはお詫びの言葉やお礼の言葉を述べない言語文化も存在する。中国の言語文化では日本語に比べると定型表現の使用頻度が低い。定型表現の使用は虚礼と捉えられ、人と人との間に垣根を作る言葉として特に近しい人との間での使用は避けられる傾向にあった。しかし、その中国の言語文化、言語習慣も、多くの言語文化との日々の接触、社会のあり方の変化、発展により大きく変化している。その中で、日本で出版されている中国語教材は伝統的な言語習慣を守っているのか、それとも中国語自体のグローバル化に従っているのか、あるいはそのいずれでもないのか。本稿では中国語教材における出会いと別れのあいさつを中心に考察を行った。

1. はじめに

第二言語としての中国語教育における『三教』—「教師」の養成、「教材」の発展、「教授法」の研究—問題はこの数年、大きなテーマとなっている（崔希亮 2010等参照）。「教材」はその問題の中の一つである。郭春贵（2005）、曹秀玲（2008）、古川裕（2011）、胡士云（2012）でも、日本の（大学）中国語教育の問題の一つとして、「教材」が挙げられている。日本の教材の問題は主に、現在、山ほどの教材が氾濫しているものの、系統立った統一教材がないこと、いずれも学習目標が明確でないこと、内容、ページ数ともに乏しく、その多くが入門・初級レベルどまりであること（中上級教材の不足）、等である。ただし、この問題は教材のみの問題ではなく、中国語のみの問題でもない。突きつめれば、日本の第二言語教育全般の問題である。

上述のように、多くの学者によって「教材」の問題が指摘されているものの、具体的に教材の「どこ」に問題があるのか、については実はほとんど指摘されていない。そこで、本稿では、出会いと別れのあいさつ表現を材料に、中国やアメリカで出版されている中国語教材との比較の中で、日本で出版されている教材の問題について考察することにした。

中国ではこれまで、「你好！」(こんにちは)などのいわゆる「定型表現」はあまり使われなかったが、現在は、人と人との関係のあり方も距離感も変わり、都市部を中心に急速に定型表現が使われるようになってきている。その一方で、伝統的なあいさつの仕方も共存しているため、あいさつ一つをとっていても複雑な様相を呈している。日本で出版されている多くの中国語教材において、あいさつは、「あいさつ表現」「常用表現」などとして場面から切り離された状態で提示され、本文中には全く扱われていないこともある。また、中国語の「呼びかけ(呼称)語」は、相手に対する敬意を示すのに大きな役割を果たすと同時に、呼称語そのものが目上の人に対する「あいさつ」にもなるため多用されているが、日本で出版されている中国語教材では、呼びかけ語は軽んじられる傾向にある。この現状を実際の教材を用いて確認することにする。

2. 考察に使用した教材

考察の対象としたのは次の初級レベルの教材である。比較的新しく、国内で広く使用されているものを選択した。

まず日本で出版されている教材10種類を挙げる¹⁾。

- | | |
|--|--------|
| 1. 『はじめての中国語 すくすく』(2006) 朝日出版社 ²⁾ | 『すくすく』 |
| 2. 『やさしく楽しい実用初級中国語』(2007) 白帝社 | 『実用初級』 |
| 3. 『ともだち・朋友(1/2)』(2008) 朝日出版社 | 『朋友』 |
| 4. 『初めての中国語コミュニケーション [改訂版]』
『楽しい中国語コミュニケーション [改訂版]』(2009) 同学社 | 『初めて』 |
| 5. 『おもしろスキット初級中国語—「できる中国語」改訂版』(2008) 同学社 | 『スキット』 |
| 6. 『たのしいの中国語』(2008) 金星堂 | 『たのしい』 |
| 7. 『身につく中国語 [改訂版]』(2009) 白帝社 | 『身につく』 |
| 8. 『老师好!—王先生との出会い—』(2011) 郁文堂 | 『老师好』 |
| 9. 『スリム版 中文在線[会話編]』(2012) 白帝社 | 『中文在線』 |
| 10. 『日中いぶこみ広場 簡明版』(2014) 朝日出版社 | 『いぶこみ』 |

比較のため、中国で出版されている中国語教材2種類とアメリカで出版されている中国語教

材 1 種類も加えた。

11. 《初级汉语口语 (1)/(2) (第二版)》(2004) 北京大学出版社 『初级汉语』
12. 《发展汉语 初级汉语口语 (上册/下册)》(上)(2004), (下)(2005)北京语言大学出版社
『发展汉语』
13. *Integrated Chinese* (中文听说读写) *Level 1・Part1/Part2 (Third Edition)*(2009)
CHENG & TSUI COMPANY 『Integrated』

ここでまず断っておかなくてはならないのは、日本で出版されている教材の分量についてである。いずれも、現在の日本の大学の外国語（第二言語）教育課程縮小の流れから、ページ数（内容）が年々、減少傾向にあり、「スリム版」「簡明版」が出版されるようになっている（B5判で100ページ前後）。写真や挿絵が増え、文字数はますます減る傾向にある。一方、今回、比較のために使用した中国、アメリカ出版の教材は、B5判からletter sizeの大きさに400～600ページほどであり、「比較」とは言いながら、分量からしても、実際には比較の対象にならない。学習者の多様化、中国語そのものの多様化から、中国で出版される教材も現在、ますます多様化しているが、今回使用した教材は主に留学生向け（現地で中国語を学ぶため）の第二言語としての中国語教材で、基本的にはほぼ毎日授業があることを前提に編まれている。毎日の生活の中で、生の中国語をインプット・アウトプットする機会も多い学習者が使用する場合がほとんどである。今回使用したアメリカ出版の教材は、多くのアメリカの大学の外国語（第二言語）の授業（大学によって異なるが、週2回～3回、多いところでは週5回）において使用されている。文字（漢字）を一から習得しなければならないため、文字の紹介やその学習に多くのページや時間が割かれている点が日本の教材と異なる点である。

このように、単純な比較が困難ではあるが、日本で出版されている教材の問題点をより明確にするための材料として、他の3種類の教材を位置づけておく。

3. 中国語の出会いのあいさつ、別れのあいさつ

3-1. 出会いのあいさつ

中国語の出会いのあいさつについては、これまでさほど詳細な分類がないが、西（2012）が、陈松岑（1989）を元に分類を行っている。

A. 問答型あいさつ

例：“吃了嗎？”（食事は済みましたか？）、“上哪儿去？”（どちらまで？）、“下班啦？”（仕事

が終わったんですか?)等。

B. 定型あいさつ

例：“你好！”(こんにちは)、“您好！”((目上に対して) こんにちは)、“早！”(おはよう)等。

C. 呼びかけ型あいさつ

例：“李老师！”(李先生!)、“张大夫！”((医者に) 張先生!)、“刘总！”(劉社長!)等、
呼称(呼びかけ)語。

D. 非言語型あいさつ

例：会釈、笑顔、手を振る、“哦”(あー)、“Hi!”等

このうち、目上の知人に対しては「呼びかけ型あいさつ」が最も丁寧で多用され、知人間では「問答型あいさつ」が多く見られる。中国語ではこのように非定型的な表現が出会いのあいさつとして多く用いられるため、外部(外国人)からは、あいさつとして認識されにくい部分もある。“你好！”(こんにちは)や“早上好”(おはようございます)、“晚安！”(おやすみなさい)などのいわゆる「定型表現」はいまだ外国臭の残る表現であり、形式的、正式な場面を除き、日常語としてほとんど用いられなかったが、最近では徐々に使用頻度が上がっており、特に“你好！”は見知らぬ人に声をかけるときなどに積極的に用いられるようになっている。さらに、“你好！”は「定型表現」とは呼んでいるものの、原義は「あなた(“你”) + ごきげんよう(“好”）」であり、“你”(二人称代名詞、常体)の部分で“您”(二人称代名詞、敬体)、“你们”(二人称代名詞、複数)、“大家”(人称代名詞、多数、「みんな」)や“老师”(「先生」)、“阿姨”(「おばさん」)などに置き換えることができる。

3-2. 別れのあいさつ

中国語の別れのあいさつも、出会いのあいさつと同様、“再见！”(さようなら)などの定型表現はもともと知人間ではあまり使われず、“我走了”(もう行きます)のような表現が好んで使用されていた。このいわゆる定型表現の“再见！”も、原義は「また(“再”) + 会う(“见”）」であり、“再”(副詞、「再度」)の部分で“明天”(「あした」)、“下星期一”(「来週の月曜日」)などの時間や“北京”(「北京で」)などの場所に置き換えることができる自由度の高い表現である。また、若い世代、女性を中心に英語のbye-byeの音訳語である“拜拜”(「バイバイ」)も友人間などでは非常に多く用いられるようになっている(陳松岑 1989、曲卫国・陈流芳 2005、西 2011等参照)。

別れのあいさつを簡単に以下のように分類することにする。

A. 陳述型あいさつ

例：“我走了！”（もう行きます），“我先走了！”（お先に），“我们要走了！”（もう行かなくては）等。

B. 定型あいさつ

例：“再见！”（さようなら），“晚安！”（おやすみなさい）等。

C. 准定型あいさつ

例：“明天见！”（あしたまた），“后天见！”（あさって会いましょう）等。

D. 非言語型あいさつ

例：会釈、手を振る、“拜拜！（Bye-bye!）”（バイバイ），“拜！（Bye!）”（バーイ）等。

E. 見送り側あいさつ³⁾

例：“（请）慢走！”（お気をつけて（お帰り下さい））等。

この他、“告辞”（おいとまする）等、ややかたい表現などもあるが、初級レベルの中国語教材にはまず出てこないため、ここでは深く立ち入らない。

次節からは定型的な表現を中心に中国語の教材における出会いのあいさつ、別れのあいさつの提示状況について考察する。

4. 教材における「出会いのあいさつ」の扱い

4-1. 国別教材の表現の提示状況と特徴

出会いのあいさつの国別提示状況は〔表1〕のとおりである。ただし、本編で手紙やEメール形式、デパートや駅のアナウンスなどとして提示されているものについては考察の対象外とした。

日本の教材10種類は、それぞれの分量は少ないにもかかわらず、提示される定型表現の数、種類が非常に多いことが〔表1〕から分かる。

〔表1〕

	你好	您好	你们好	老师好	同学们好	大家好	早上好	晚上好	{你/您}早	その他
日本(10種類)	25	8	7	8	3	3	4	3	2	3
中国(2種類)	26	32	4		1		3		1	7
アメリカ(1種類)	7	2	1	1			1			4
計	58	42	12	9	4	3	8	3	3	14

中国語教材における出会いと別れのあいさつ表現

「その他」には、「欢迎(欢迎)」（いらっしゃい）、「欢迎光临」（いらっしゃいませ）、「你好吗？」（お元気ですか？）などが見られる。全体的には“你好！”、“您好！”が多く見られるが、[表1]をさらに、以下の[表2][表3]のように、場面（文脈）付きであいさつ表現が提示されているのか、「あいさつ表現」「常用表現」「教室用語」などとして、場面なしで列挙されているのかを分けて比較してみると、興味深い結果が見えてくる。

日本で出版される中国語教材は、「場面なし」での提示が多く、かつ提示する表現の種類も多い。一方、中国で出版されている教材はすべて「場面つき」で本文中に提示されている。また、アメリカの教材は、「場面なし」（教室用語）で提示されたものが「場面つき」で提示されるなど、「場面なし」で提示される表現と「場面つき」で提示される表現との間にゆるやかなつながりが見られる。

4-2. 個別教材の表現の提示状況

次に、個別の教材、特に本編における出会いのあいさつ表現の提示状況を見てみよう。

表中の（ ）は、それぞれの数のうち、「場面なし」で提示されている表現の数である。中国で出版されている教材は、上述のとおり、全て場面つきで扱われているが、日本で出版されている教材の多くは、“你好！”以外の出会いのあいさつ表現を「常用表現」として、場面から切り離して扱っている傾向が強いことが、[表4]からよく分かる。その一方で、“你好”さえ見られない教材も複数見られた（『スキット』『身につく』）。

「場面つき」の例を見てみる⁴⁾。

[表2] 場面つき（本文中）

	你好	您好	你们好	老师好	同学们好	大家好	早上好	晚上好	{你/您}早	その他
日本(10種類)	17	3		1		1				3
中国(2種類)	26	32	4		1		3		1	7
アメリカ(1種類)	5	2	1							3
計	48	37	5	1	1	1	3	0	1	13

[表3] 場面なし

	你好	您好	你们好	老师好	同学们好	大家好	早上好	晚上好	(你/您)早	その他
日本(10種類)	8	5	7	7	3	2	4	3	2	
中国(2種類)										
アメリカ(1種類)	2			1			1			1
計	10	5	7	8	3	2	5	3	2	1

[表 4]

出典	你好	您好	你们好	老师好	同学们好	大家好	早上好	晚上好	{你/您}早	その他
『すくすく』	3 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)		1 (1)	1 (1)			
『实用初級』	3 (1)	1 (1)	1 (1)				1 (1)	1 (1)		
『朋友』	1 (0)	1 (0)				1 (0)				2 (0)
『初めての』	3 (1)	1 (1)	1 (1)							
『スキット』		1 (0)								
『たのしい』	4 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (0)
『身につく』			1 (1)	1 (1)						
『老师好』	1 (0)	1 (0)		2 (1)	1 (1)					
『中文在線』	5 (1)	1 (1)		2 (2)	2 (2)		1 (1)	1 (1)		
『いぶこみ』	5 (3)		2 (2)	1 (1)					1 (1)	
『初级汉语口语』	9 (0)	3 (0)	3 (0)				1 (0)		1 (0)	1 (0)
『发展汉语(口)』	17 (0)	29 (0)	1 (0)		1 (0)		2 (0)			6 (0)
『Integrated』	7 (2)	2 (0)	1 (0)	1 (1)			1 (1)			4 (1)
計	58 (10)	42 (5)	12 (7)	9 (8)	4 (3)	3 (2)	8 (5)	3 (3)	3 (2)	14 (1)

1) 高木: 老师, 您好!

老师: 你好! (『老师好』 1 课)

2) 洪刚: 老师, 您好!

老师: 大家好。(『朋友』 1 - 3 課)

3) (杰夫走过来)

安妮: 杰夫, 你好!

杰夫: 你好, 安妮! 他是谁?

安妮: 他叫彼得, 法国人。

杰夫: 你好, 彼得! 我叫杰夫!

彼得: 你好! (『初级汉语口语』 1 - 5 課)

4) 高小音: 王朋, 李友, 来, 我给你们介绍一下, 这是我表姐海伦, 这是她的儿子汤姆。

王朋: 你好, 海伦。

海伦：你好，王朋。文中和小音都说你又聪明又用功。（『Integrated』14課(2)）

4-3. 「出会いのあいさつ」に関する注釈

はじめに断っておくが、日本で出版されている教材は紙幅の関係か、単語や表現に「注釈」が施されていることが非常に少ない。一部の教材で、「コラム」のような掲載されていることがあるくらいである。一方、中国やアメリカで出版されている教材には、文化や習慣も含め、特殊な表現には注釈が細かく施されている。ここでは、コラムも含めて、中国語の「出会いのあいさつ」についてどのような記載があるかを見てゆく。

5) Ni hao !

「こんにちは」という意味で、朝・昼・晩とも使えます。友達同士では“Hao!”とだけ言うこともあります。（『すくすく』第1課 解説）

6) 中国人は“你好”を使わないの？

実は“你好！”という挨拶は近年、外国人との交流が盛んになった後に普及してきたものである。元々中国人同士はあまり使わなかったが、最近は面識がない中国人に対して使うようになった。しかし、親しい友人の間では、あまり使わない。

中国人の友人や近所同士は食事の時間の前後に、よく“吃饭了吗？”（ご飯を食べましたか）と尋ねる。中国人にとってお互いに食事について聞くのは大変な礼儀である。食事時間でない場合、“上街啊”（お出かけですか）、“上班啊”（お仕事に行きますか）などの挨拶をする。

（『実用初級』4課 文化コーナー）

7) 你好。→こんにちは（おはよう、こんばんは）

“你好”は、最も一般的なあいさつの言葉。初対面の人から親しい友人まで、誰に対してもいつでも使える。返事も“你好”。（『中文在線』1課 表現のポイント）

8) 你好 こんにちは (p.43)

日本のあいさつは「お辞儀」だ。ちょっと頭を下げる。中国は「握手」だ。頭は下げない。

日本人は写真のように、握手しながら、ちょっと頭を下げがちだ。頭を下げないほうがどうしても偉く見える。日本の政治家のみなさんには、海外に行ったとき気をつけてもらいたい。…（後略）…

（『いぶこみ』1課 いぶこみ16景）

このように、日本で出版されている教材における解説は短く、また種類も限られている。ほとんどが“你好！”というあいさつに対して附されているものである。一方、中国やアメリカで出版されている教材の注釈、解説はあいさつの種類が豊富で詳細である。

9) “你好!” “How are you?” :

见面时的问候语。第一次见面或平时见面时都可以用, 回答是“你好!” 或“您好!” 等。

(出会いのあいさつ。初対面、普段会おうときいづれにも使用できる。返事は“你好!” または“您好!” など。) (『初级汉语口语』 1-4 课、注释)

10) “早上好!” “早!” “Good morning!” “Morning!” :

早上(一般在上午十点以前)见面时的招呼用语, 有时也说“早晨好”或“你(您)早”, 对方回答也是“早上好”“早晨好”或“你(您)早”。

(朝(通常は午前10時以前)の出会いのあいさつ言葉。“早晨好”、“{你/您} 早”ということもある。相手の返事も“早上好”、“早晨好”、あるいは“{你/您} 早”である。)

(『初级汉语口语』 1-5 课 注释)

11) 寒暄与客套

中国人见面的时候, 相互间有很多寒暄语, 比如: “你好! 好久不见, 最近好吗?” “工作怎么样? 忙吗?” “身体好吗? 家里人都好吧?” 或者: “你去哪儿?” “吃(饭)了吗?” “孩子学习怎么样?” “听说前些天去外地了, 什么时候回来的?” “你好像瘦了?” …(中略)…

在见面时, 中国人不常说“你好”“早上好”等, 而常根据时间、情况问要做的或正在做的事情, 如: “上课去呀”“出去呀”“回来啦”“洗衣服呢”“吃饭呢”等。

(あいさつと儀礼: 中国人が人と会ったとき、互いに多くのあいさつを交わす。例えば、「こんにちは。久しぶり、最近どうですか?」「仕事はどう? 忙しい?」「体調は? ご家族はみな元気ですか?」あるいは「どちらまで?」「食事は済んだの?」「お子さんの勉強のほうはどう?」「数日前に地方に出張されたって聞いたけど、いつ帰って来られたの?」「痩せたみたいだけど?」など…(中略)…出会いの場面で、中国人は“你好”(こんにちは)、“早上好”(おはようございます) などとはあまり言わず、時間や状況に合わせて、これから相手がしようとしていることや、今していることを聞いたりする。例えば、「授業に行くの?」「お出かけ?」「お帰り」「洗濯中?」「食事中?」等のようにである。)

(『初级汉语口语』 1-25课 你知道吗?(5))

12) “你好”

见面时的问候语, 第一次见面或平时见面时都可以用。回答也是“你好”。例如:

(出会いのあいさつ、初対面あるいは普段会おうときいづれにも使用できる。答えも“你好”。例えば)

A: 你好, 王刚!

B: 你好, 大卫。 (『发展汉语(口)』 1 课、注释)

13) “您好”

中国語教材における出会いと別れのあいさつ表現

见面时的问候语，比“你好”更客气，更有礼貌。一般用于向比自己年长或地位高的人问好；有时向对方表示客气时，也可用。回答可以是“您好”或“你好”。例如：

(出会いのあいさつ、“你好”よりもさらに丁寧で礼儀正しい言い方。普通は自分より年長の人や地位の高い人にあいさつする時に用いるが、相手に対して丁寧な態度を示す場合にも使うことができる。答えは“您好”でも“你好”でもよい。例えば)

A：您好，老师！

B：你好，保罗！

(『发展汉语(口)』1课、注释)

- 14) 你好！(Nǐ hǎo) is a common form of greeting. It can be used to address strangers upon first introduction or between old acquaintances. To respond, simply repeat the same greeting.

(『Integrated』1课 Language Notes)

- 15) ①你好，老师！(Hello, professor!)

②王先生，早上好！(Good morning, Mr. Wang!)

③早安！(Good morning!)

In daily life, however, a common way to greet a person in by asking a casual question about what that person is doing at the moment.

①老李，上课去呀？(Lao Li, going to class?)

②小王，回家呀？(Little Wang, going home?)

③爸爸，回来了？(Dad, you're home?)

(『Integrated』That's How the Chinese Say it! Greetings)

もちろん、入門・初級レベルで、中国語の「問答型あいさつ」を使いこなすことは非常に難しく、また中国語を用いて深い人間関係を築く機会も実際にはまだ少ないであろうから、まずは“{你/您}好！”という基本的なあいさつを覚えておくことが重要であるが、これまでに見た注釈などから分かるように、知人(特に目上の人や社会的立場が上の人)に対しては必ず「呼びかけ語」を用いる点などは、初級レベルの学習者でも知っておくべき点である。

5. 教材における「別れのあいさつ」の扱い

5-1. 国別教材の表現の提示状況と特徴

別れのあいさつの国別提示状況は[表5]のとおりである。

別れのあいさつでは、出会いのあいさつと異なり、数も種類も大幅に減少する。日本で出版されている教材には、「時間詞+“見”」の形式をとるのは“明天见”(明日また)以外見られなかつ

[表 5]

	再见	明天见	时间词+见	慢走	我先走了	晚安	その他
日本(10種類)	12	1		2		1	1
中国(2種類)	14	1	3	2	1		4
アメリカ(1種類)	6	1	5	1			
計	32	3	8	5	1	1	5

だが、中国、アメリカ出版の教材には、“一会儿见”（また後で）、“回头见”（またすぐ後で）、“星期四晚上见”（木曜日の夜に会おう）、“下个学期见”（来学期に会いましょう）、等が見られた。「その他」には、“上海见”（上海で会いましょう）、“后有会期”（機会があればまたお目にかかりましょう）、“一路平安”（道中お気を付けて）、“不见不散”（会えるまでその場を離れないで）などが見られた。

次に、別れのあいさつの提示状況を「場面つき」（[表 6]）と「場面なし」（[表 7]）に分けて比較する。

別れのあいさつの場合も、基本的には出会いのあいさつの場合と同じ状況が見られ、日本ではほとんどが「場面なし」で「定型表現」「あいさつ表現」として提示されており、逆に中国ではすべて「場面つき」で提示されていた。また、アメリカでは、「場面なし」で挙げられたものを「場面つき」で紹介するようなゆるやかなつながりが、出会いのあいさつと同様、比較

[表 6] 場面つき（本文中）

	再见	明天见	时间词+见	慢走	我先走了	晚安	その他
日本(10種類)	1			2			
中国(2種類)	14	1	3	2	1		4
アメリカ(1種類)	4		4				
計	19	1	7	4	1	0	4

[表 7] 場面なし

	再见	明天见	时间词+见	慢走	我先走了	晚安	その他
日本(10種類)	11	1				1	1
中国(2種類)							
アメリカ(1種類)	2	1	1	1			
計	13	2	1	1	0	1	1

的多く見られた。

5-2. 個別教材の表現の提示状況

個別の教材における別れのあいさつ表現の提示状況を確認する。

表中の()は「場面なし」の数である。個別に見ると、「場面つき」「場面なし」を問わず、基本の別れのあいさつ表現である“再见”が1例も見られない教材があることが分かる(『すすくすく』、『スキット』)。また、別れのあいさつが1種類しかあげられていない教材も数多く見られる(『初めて』、『スキット』、『身につく』、『老师好』、『中文在線』、『いぶこみ』)。

「場面つき」の例を挙げる。

16) 老师：我送你们去。

[表 8]

出典	再见	明天见	时间词+见	慢走	我先走了	晚安	その他
『すすくすく』							
『实用初級』	2 (2)					1 (1)	
『朋友』	1 (0)			1 (0)			
『初めて』	1 (1)						
『スキット』				1 (0)			
『たのしい』	1 (1)	1 (1)					1 (1)
『身につく』	1 (1)						
『老师好』	2 (2)						
『中文在線』	1 (1)						
『いぶこみ』	3 (3)						
『初級汉语口语』	2 (0)	1 (0)		1 (0)	1 (0)		
『发展汉语(口)』	12 (0)		3 (0)	1 (0)			4 (0)
『Integrated』	6 (2)	1 (1)	5 (1)	1 (1)			
計	32 (13)	3 (2)	8 (1)	5 (1)	1 (0)	1 (1)	5 (1)

洪刚：不用了。请留步。再见！（『朋友』2-9課）

17) 老师：小姐，买单！用信用卡付，行吗？

服务员：刷卡，是吗？没问题。慢走啊。（『朋友』1-14課）

18) (在办公室)

安妮：好的。老师，您贵姓？

刘老师：我姓刘。

安妮：刘老师 明天见！（『初级汉语口语』1課）

19) 情景1：保罗在房间里，这时电话铃响了。

保罗：好吧，谢谢你。

王刚：不谢，咱们 星期天见。（『发展汉语(口)』33課）

20) 高文中：好，星期四晚上见。

白英爱：再见！（『Integrated』3課）

5-3. 「別れのあいさつ」に関する注釈

別れのあいさつに関する注釈はわずか1例であった。

21) 寒暄与客套：

告别的时候，常说的客套话有：“我还有点儿别的事，改天咱们好好儿聊聊”“有空儿来我家玩儿”。但这并不是真的邀请，而是客套。只有一方提出具体时间，才是真的请对方去家里做客。

（あいさつと儀礼：別れの際によく言う社交辞令には「まだ別の用事があるので、日を改めてゆっくり話しましょう」「お暇があればうちに遊びに来て下さい」等がある。しかしこれは本当の誘いではなく、単なる社交辞令である。相手が具体的な時間を言った場合のみ本当に家に招待しているのである。）

（『初级汉语口语』1-25課 你知道吗？）

出会いのあいさつに比べると、別れのあいさつは注釈においても軽んじられる傾向にある。例21)にしても、一般的な別れのあいさつ表現の例が挙がっているわけではない。中国語は、日本語のように定型表現を用いておけば初心者でも安全運転ができる、というものではないため、注意が必要である。

中国の若い世代を中心に普及している“拜拜”（バイバイ）は、今回考察の対象とした中国語教材には使用されていなかった。使用頻度から言えば、今や“再见”（さようなら）を凌ぐ勢いの“拜拜”であるが、比較的新しい別れのあいさつであり、日本語で使われる「バイバイ」

と同じく、友人など同→同、同→下の関係、カジュアルな場面限定、などの制限があるため、入門・初級レベルで導入されないことには一定の理があると思われる。

6. 教材における「あいさつ」と中国語の特徴

古代中国語はさておき、現代中国語は日本語に比べ「敬語」専用の文法形式が乏しい言語である（木村 1983等参照）。二人称代名詞には常体“你”と敬体の“您”があるものの、親しくなれば敬体から常体へと移行することも少なくはなく、相手に対して「親しさ」を示すことと、相手を尊び敬うことが比較的近い関係を持つ。そのため、呼びかけ語自体が出会いのあいさつとしても成立する。中国語のちょっとしたあいさつの中で、相手に対する敬意を表す機能は実は「呼びかけ語」がその多くを担っており（橋本 2000、西 2012等参照）、「目上」の相手に対しては、出会いのあいさつのみならず、別れのあいさつ、その他、多くの言語行動においても「呼びかけ語」を付随させて敬意を示すのである。

西（2012）では、中国語母語話者が出会いのあいさつおよび別れのあいさつにおいて「呼びかけ語」を使用する割合を挙げている。出会いのあいさつ表現には、親しい先生に対して94.5%、さほど親しくない先生に対して95.4%、「呼びかけ語」が添えられていた。一方、別れのあいさつにおいても、親しい先生に対して、89.9%、さほど親しくない先生に対しても89.0%、「呼びかけ語」が使用されていた。

中国語においては、特に出会いのあいさつでは、“{你/您}好！”（こんにちは）よりも“老师！”（先生！）と呼びかけるほうがずっと丁寧で相手に対する敬意も示すことができるが、日本で出版されている教材にはほとんどそのことが触れられていない。中国やアメリカの教材でも、「呼びかけ語」そのものの機能についてはほとんど説明がないが、挙げられる例文にはほとんど「呼びかけ語」が付けられており、例文で「呼びかけ語」の重要性を示していると言える。ただし、日本語を母語とする中国語学習者にはきちんと説明を与える必要がある。なぜなら、日本語の「呼びかけ語」には中国語の「呼びかけ語」が持つ敬意表明機能、あいさつ機能がないからである。特に目上の人に対する表現にはすべて「呼称語」を附した形で提示する必要がある。きちんと導入されなければ、敬意を示すべき相手に対して二人称代名詞敬体を用いて“您好！”と言っておけば礼を失することはないというような誤解を招きかねず、語用論的失敗（pragmatic failure）を引き起こしかねないからである（西 2012参照）。

7. おわりに

以上見たように、日本で出版されている教材の多くは、「あいさつ言葉」といって一括りにし、場面の中で表現を提示しない傾向が強く見られる。しかし、中国語のあいさつ表現は定型化の度合いが日本語のあいさつ表現ほど高くはなく、初級レベルの学習者が「こんにちは」と「さよなら」を覚えておけば、コミュニケーション上、大きな問題は生じないという日本語とはやや状況が異なる。外国語学習の目標をその母語話者（いわゆる「ネイティブ・スピーカー」）の言語規範とすることは既に時代遅れとも言われるようになった今日、学習者自身が第一の文化（母文化）でも第二の文化（目標文化）でもない、「第三の場（the third place）」を見つける「異文化対応能力（intercultural competence）」を持つことが重要であると言われるようになり、そして、このような能力を持つ「異文化間話者（intercultural speaker）」を育成することこそが外国語教育の目標とされるようになった（Kramsch 1993, 1998, Byram 1997, 2009, Liddicoat et al. 1999）。しかし、これらの主張はある言語の規範を無視することを推奨しているのでは決してない。大学の外国語（第二言語）教育課程の縮小に伴い、日本で出版される中国語教材の多くもスリム化が迫られる中、コミュニケーションの始まりと終わりを示す重要な役割を果たすあいさつ表現について、もう少し適切な提示方法、明確な説明が考えられてもよいだろう。

注

- 1) 以下、右の『 』のように略称する。
- 2) 原著は韓国で出版されている。
- 3) 普通は、店員などが、自らはその場を離れず、客を見送る場合にのみ用いる。
- 4) 例文中の___は「あいさつ表現」、〰〰〰はあいさつ表現に付随する「呼びかけ語」を示す。以下、同様。

主要参考文献

- 橋本永貢子（2000）「第4章 敬語としての人称—現代中国語の場合—」『文化と風土の諸相』101-124、末永豊・津田雅夫編著、京都：文理閣。
- 木村英樹（1987）「中国語の敬語」『言語』16-8：38-44。
- 西香織（2011）「汉语告别言语行为的调查与分析」『北九州市立大学 外国語学部紀要』130：8-24。
- 西香織（2012）「中国語の呼びかけ語の語用論的機能について—出合いのあいさつを中心に—」『中国語教育』10：231-250。
- 大河内康憲（1997）「第13章 中国のあいさつ語」『中国語の諸相』223-239、東京：白帝社。

中国語教材における出会いと別れのあいさつ表現

- 毕继万 (1986) 〈中国文化介绍在对外汉语教学中的作用〉《第一届国际汉语教学讨论会论文集》554-562, 北京: 北京语言学院出版社。
- 毕继万 (1997) 〈汉英社交称谓的差异〉《语言建设》1: 13-15。
- 毕继万 (2000) 〈“貌合神离”的词语文化涵义对比研究〉《外语与外语教学》9: 17-20、23。
- 曹秀玲 (2008) 〈东北亚汉语教学的历史与现状综观〉《世界汉语教学》3: 125-133。
- 陈松岑 (1989) 《礼貌语言初探》(2001《礼貌语言》を参照) 北京: 商务印书馆。
- 崔希亮 (2010) 〈汉语国际教育“三教”问题的核心与基础〉《世界汉语教学》1: 73-81。
- 古川裕 (2011) 〈日本“中国语”教学概况〉《全球语境下的汉语教学》洪历建主编, 107-117, 上海: 学林出版社。
- 顾曰国 (1992) 〈礼貌、语用与文化〉《外语教学与研究》4: 10-17。
- 郭春贵 (2005) 〈日本的大学汉语教育问题〉《世界汉语教学》4: 91-97。
- 胡明扬 (1987) 〈问候语的文化心理背景〉《世界汉语教学》2: 30-33。
- 胡士云 (2012) 〈日本的汉语教育四题〉《全球语境下海外高校汉语教学》洪历建主编, 239-249, 上海: 学林出版社。
- 鲁健骥 (1990) 〈对外汉语教学基础阶段处理文化因素的原则和做法〉《语言教学与研究》1: 37-46。
- 曲卫国、陈流芳 (1999) 〈礼貌称呼的语用学解释〉《华东师范大学学报(哲学社会科学版)》6: 118-124。
- 曲卫国、陈流芳 (2001) 〈汉语招呼分析〉《华东师范大学学报(哲学社会科学版)》3: 116-124。
- 曲卫国、陈流芳 (2005) 〈告别语“拜拜”与汉语口语语体的缺环现象〉《修辞学习》3: 25-27。
- Byram, Michael. (1997). *Teaching and Assessing Intercultural Communicative Competence*. Clevedon: Multilingual Matters.
- Byram, Michael. (2009). Intercultural Competence in Foreign Languages: The Intercultural Speaker and the Pedagogy of Foreign Language Education. In D. K. Deardorff (ed.), *The Sage Handbook of Intercultural Competence*, (pp.321-332). Thousand Oaks: Sage Publications, Inc.
- Kramsch, Claire. (1993). *Context and Culture in Language Teaching (Oxford Applied Linguistics)*, Oxford: Oxford University Press.
- Kramsch, Claire. (1998). The Privilege of the Intercultural Speaker. In M. Byram & M. Fleming (eds.) *Language Learning in Intercultural Perspective*, (pp.16-31). Cambridge: Cambridge University Press.
- Liddicoat, A. J., Crozet, C., & Lo Bianco, J. (1999). Striving for the Third Place: Consequences and Implications. In J. Lo Bianco, C. Crozet, & A. J. Liddicoat (eds.), *Striving for the Third Place: Intercultural Competence through Language Education*, (pp.181-187). Melbourne: Language Australia, Ltd.